



いつも元気!

飯塚園長ごあいさつ



カンボジアの障がいのある子を育てる保護者に聞き取りを行う飯塚園長

やっと、秋らしい季節になり、少し肌寒く（乾燥もあり）体調を崩しやすいこの頃ですね。ただ、世間ではコロナ感染症も治まり、先日2年ぶりにカンボジアへ支援活動のため渡航した際は、空港も、現地も、ほとんどの人が、全くマスクなしだったことには、本当に戸惑いました。

世界は、コロナ禍が治まり、平穏な生活に戻ってきたと思ったとたん、各地で戦争がおさまるところか、広がってきています。ニュースで、子どもたちが死傷したり、爆撃で精神的にダメージを受けている映像を見るたびに、心が締め付けられる毎日です。

ゆりかご園の子どもたちは、元気にそして笑顔で通園してきてくれています。私は、立場上、直接関わることはありませんが、できるだけ子どもたちが療育を受けている場面に覗きに行っています。

先日、遠足では、明石公園のこども広場に新設されたインクルーシブ遊具体験にみんなで行ってきました。

屋外で、木々がたくさん茂った自然の公園でのひと時を満喫した上に、誰でもが楽しめる遊具に乗って、こどもたちも保護者の皆様も満面の笑顔でした。当日は神戸新聞の方も取材に来てくださり、新しいインクルーシブ遊具の紹介をゆりかご園の子どもたちの笑顔とともに紹介してくださいました。



こども広場のインクルーシブ遊具で遊ぶゆりかご園の園児さん

みんな本気フェスタに参加してきました!



みんな本気フェスタ集合写真

9月30日アスピアで行われた「あかしに集まれ! みんな本気フェスタ」に参加しました。アトリウムコートでは17団体のブースが出展し、視線入力のマリオカートあり、木のおもちゃ屋さんあり、手話を楽しむブースありなどなど、人もたくさん集まっていた、賑やかな状態でした。

私がいたのは子午線ホールでしたが、こちらも13のステージが行われました。先日ゆりかご園に来てくださった鈴木凜太郎さんのピアノから始まり、末近さんのサプライズ演奏や視覚障害者の方々のコーラス、

オニイタレント竹紫さんの朗読、フィリピン歌手エリザベスさんのステージ、視覚障害の若者のダンスパフォーマンス Do-it のダンスなどなど、色とりどりのステージが行われました。

中でも私の印象に残っているのは、「手話エンターテイメント発信団 oioi (オイオイ)」のステージで、音楽に乗りながら楽しく手話を学ぶことができるひと時で、お勉強ではなく楽しく遊びながら手話と触れ合うことに、半ば感動を覚えました。oioiさんにはまた機会があればゆりかご園に来ていただきたいと思っています。

今回のフェスタを振り返ると、「本気フェスタ」の名にふさわしく、国籍・性別・障害のあるなしなど関係なく、みんなの「本気」を感じた素敵な一日でした。(副施設長・作業療法士: 山本康典)

親子遠足に行ってきました♪ ~インクルーシブ遊具で遊んできました♪~



親子遠足を楽しむお子様たち

10月6日に親子遠足を行いました。お天気は晴れで、予定通り明石公園の子ども村で実施しました。

今回は現地集合・現地解散ということで、自家用車や公共交通機関などそれぞれの手段で集まっていただきました。西芝生広場に集合し、各グループ自己紹介からスタート!!子ども村までの道のりはオリエンテーリングを行いました。

渡された写真をヒントにポイントへ向かい、お子様たちには絵本「おべんとうばす」のキャラクターをもらいそれを手に子ども村へまで行き、フェンスに貼っているおべんとうばすの絵にそれぞれ貼ってもらいました。

普段、クラスや登園曜日が違い、なかなか会うことのない保護者の方同士がお話し交流することができていたように感じます。子ども村では、今年9月30日にオープンしたばかりのインクルーシブ遊具で遊びました。新しい遊具でお子様それぞれが楽しんでいる様子がみられ、また園とは違う表情や動きがみられたのではないかと思います。初めての明石公園での親子遠足、大きな怪我もなく終わることができました。ご協力ありがとうございました。(真田)

自分で選ぶことを大切に! ~ぱんだ組の制作活動のご報告~



自分の表現(アート)を楽しむお子様

少しずつ秋が深まってきました。芸術の秋!ということで、ぱんだ組での制作の様子をご紹介します。

ぱんだ組では、年度当初より、絵の具遊びを毎月継続して取り組んでいます。まずは、「楽しい」と感じられるように、リズムに合わせて絵の具を画用紙につけてみたり、画用紙に塗らずに感触遊びとして絵の具を手で触ってみたり、手で触る事が苦手なお子様は筆やローラーを使って自由に遊んでいます。毎月、繰り返し取り組むことで、絵の具への抵抗が少しずつ減ってきたように思います。少しずつ経験することで、「楽しさ」を感じてもらえればと思います。

また、制作中は、色の選択や書き出しのタイミングなど「自分で選ぶ」ことを大切にしています。それぞれのお子様のペースで画用紙についた色がとても良い味が出ています。絵の具を触り、笑顔を見せてくれた時にはとても成長を感じました。真剣に筆を持つ姿や絵の具を触る姿を見て私たちも真剣に見入ってしまうこともあります。今後も、それぞれのペースで楽しめるように、一緒に取り組んでいきたいと思っています。(逸見)

ゆりかごギャラリー 明石市立ゆりかご園「ゆりかごギャラリー」からのお知らせ!

9月、10月は、夏祭りの写真展示にご協力頂きましてありがとうございました。11月、12月は、鈴木遥葵さんの描かれた絵を展示させて頂く予定になっています。とても素敵な絵が展示されますので、乞うご期待ください。



鈴木遥葵さんの作品